

1. 主眼

- ・基本的なバット操作と走塁での攻撃ができるようにする。
- ・定位置での守備などの技能を高めてゲームを楽しめるようにする。

2. 指導上の留意点

- ① タイミングを合わせてボールを打たせる
- ② 相手の動きを見て、積極的に走らせる
- ③ 正面へ入る動きとバックアップの感覚をつかませる

3. 評価

【 関心・意欲・態度 】

- ・積極的に練習している
- ・自分の考えを述べることができる

【 思考・判断 】

- ・自己や仲間の課題を見つけることができる

【 技能 】

- ・ポイントを理解し、実践できる

【 知識・理解 】

- ・ポイントを理解している

めあて

基本的なバット操作と打球の方向に合わせてチームで連携した守備を行おう。

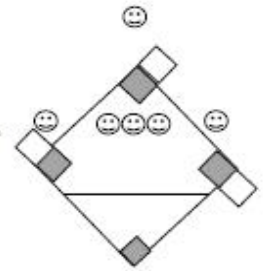
「フェアゾーンゲーム」ルール

<打撃>

- ① 打撃をする場合は、フェアゾーン内に一度バウンドさせなければアウト。
- ② 6名全員が打ち終わったらチェンジ
- ③ 4つのベースを回る前までにベースを踏んだ数だけ得点。

<守備>

- ④ 守備ポジションは自由。  
内野、外野、人数などはグループで考える
- ⑤ 打球を捕ったら、4つのベースをキャッチボールで回す。
- ⑥ ベースはどこから回してもよい。



本時の流れ

1. 準備体操
2. 本時の説明
3. 基本練習
4. ゲーム①「フェアゾーンゲーム（6対6）」
  - ・ 作戦タイム
  - ・ 振り返り
5. 本時のまとめ

構造図	ベースボール型 ソフトボール 1年	
目指すゲームの様相	男女混合、最大6対6で、基本的なバット操作と走塁などの攻撃の技術やゴロやフライの捕球と送球、定位置（ポジショニング）での守備などの技能を高めてゲームを楽しむ。	
工夫したゲーム	◇フェアゾーンゲーム（各塁ともダブルベース使用） 人数6対6 フェアゾーンを工夫したゲーム	
	<p>ルール（攻撃）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 打撃をする場合は、フェアゾーン内に一度バウンドさせなければアウト</li> <li>・ 6名全員打ち全員が打ち終わったらチェンジ</li> <li>・ 4つのベースを回る前までにベースを踏んだ数だけ得点</li> </ul> <p>ルール（守備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守備ポジションは自由。外野、内野、人数などはグループで考える。</li> <li>・ 打球を捕ったか、4つのベースをキャッチボールで回す。</li> <li>・ ベースはどこから回しても良い。</li> </ul>	
必要となる基礎的技能	<p>ディフェンス(守備)</p> <p>捕球・送球・キャッチボール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フライ・ゴロの捕球・送球</li> <li>・ ピッチング(下手から緩いボールを投げる)</li> </ul>	<p>オフェンス(攻撃)</p> <p>打撃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バッティングフォーム</li> <li>・ バットの握り方</li> <li>・ バットの置き方</li> <li>・ 送塁（ベースランニング） （1塁を駆け抜ける） （ベースをまわる）</li> </ul>
考えられる作戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守備がどこにいるかで打つ場所を考える。</li> <li>・ どうカバーに入るか</li> </ul>	
ゲームの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フェアゾーンに何回入ったか</li> <li>・ ベースを踏んだ回数</li> <li>・ 触球数</li> </ul> <p>もし全然ボールに触らない生徒がいた場合は人数を少なくしたり、ポジションをローテーションする</p>	

